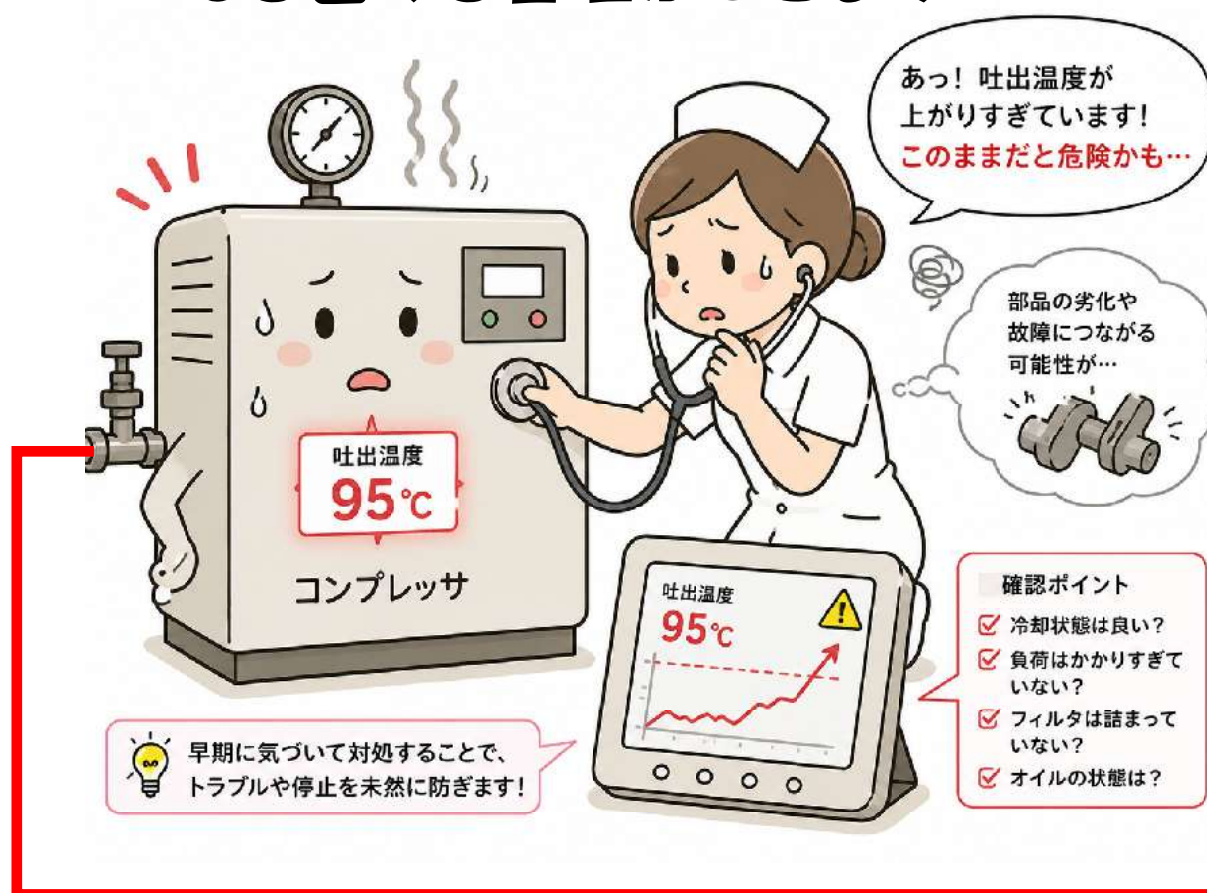


吐出温度の管理

コンプレッサの吐出温度を測ると色々と管理ができます



吐出温度

吐出温度の管理でこのようなことが分かります

- 圧縮効率の低下・摩耗の検知
- 冷却系のトラブル(冷却不良)
- 潤滑油(オイル)の劣化・不足
- 吸気フィルタの詰まり
- ドライヤの除湿不良

更に見守盤内の他のセンサ情報との同期計測管理で多くのメンテナンス情報の取得ができます

- 吐出温度 + ■ 負荷電流
- 吐出温度 + ■ 配管圧力
- 吐出温度 + ■ 機器振動

コンプレッサの専属医





過熱・吐出温度

～「発熱」に見立てた、コンプレッサーのつぶやき～

その熱、大丈夫ですか？

1 先生、今日はちょっと熱が高いんです……

あら？いつもより熱が高いですね…

この熱、ただの発熱でしょうか？

吐出温度の上昇は、負荷の増加・冷却不良・劣化のサインです。

2 あれ？昨日より熱が上がってる！

昨日はこんなに高くなかったのに…

少しずつの上昇が大きなトラブルにつながります！

吐出温度の変化を毎日監視することで、異常の早期発見が可能です。

3 熱が下がらない……どこか無理してない？

ずっと高いまま…冷却が追いついていないのかも？

冷却ファン？
オイルの劣化？
フィルタの目詰まり？

高い吐出温度が続くと、オイルの劣化や部品の寿命を縮めます。

4 まだ動いている。でも、この熱を見逃さないで。

今は動いていても、熱はすでに異常を知らせています。

故障してからでは遅い！
“体温”のチェックで安心運転を。

吐出温度の継続監視で、突発的な故障を防ぎ、安定した生産を守ります。

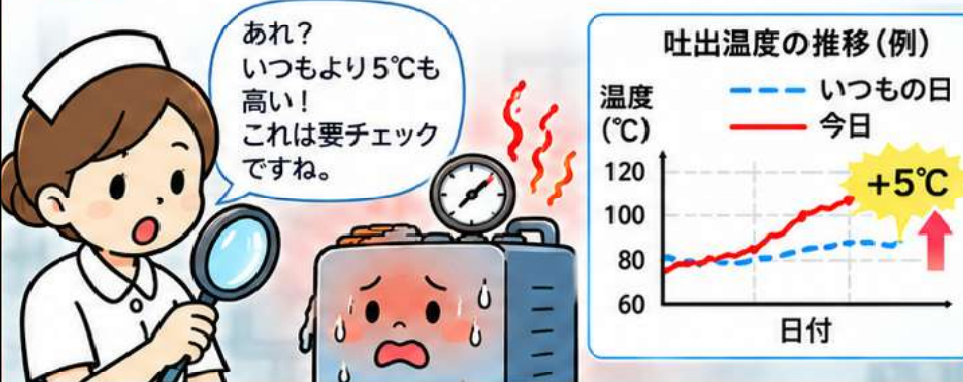
常時計測監視で発熱を見える化して、止まらない工場に

5 頑張りすぎて、 熱が出ていませんか？



過負荷の運転が続くと、吐出温度が上昇し、機器の劣化や故障のリスクが高まります。

6 いつもより5℃高い。 その小さな変化を見逃さない。



わずかな吐出温度の上昇も、異常の始まりかもしれません。日々の監視で、トラブルの早期発見につながります。

7 突然の高温。その前に、 兆候はありませんでしたか？



吐出温度の上昇は、少しずつ進行します。日常のデータを確認することで、大きなトラブルを防げます。

8 故障してからでは遅い。 まず毎日の“体温”を見てあげる。



吐出温度の継続監視が、コンプレッサの健康を守り、安定した工場運営に役立ちます。

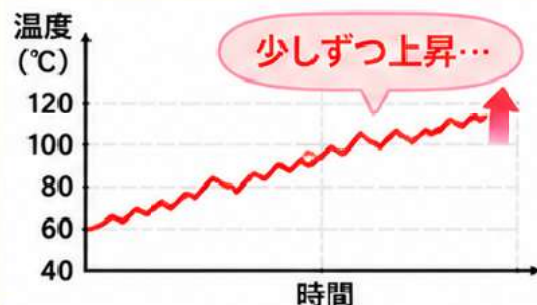
長期の連続したトレンドグラフで異常の兆候を直ぐに把握できます

9

まだ動いている。
でも、その温度は正常ですか？



吐出温度の推移（例）



小さな温度の上昇が、
大きなトラブルの
前ぶれかもしれません。

- ☑ 負荷の増加
- ☑ 冷却不良
- ☑ フィルタの目詰まり
- ☑ オイルの劣化

異常な高温になる前に、日常の温度管理で
コンプレッサの健康を守りましょう。

10

故障してからでは遅い。
まず毎日の“体温”を見てあげる。



毎日の温度監視で、こんなメリット！

- ☑ 突発的な故障を防止
- ☑ 設備の長寿命化
- ☑ 計画的なメンテナンスが可能
- ☑ 安定した生産を維持
- ☑ 修理コストの削減

コンプレッサーも
“健康管理”の時代です！



温度が見える化して、コンプレッサーを止めない工場へ。
日々の監視が、安心と安定をつくれます。

更に吐出温度の変化と負荷電流の変化で設備の状態等が分かります